

## 教員・教育委員会職員対象 311 教訓伝承・被災地視察研修について（ご案内）

日頃より、本学の教育・研究活動につきまして、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナ禍で学校現場、教育現場が多大な影響を受け、日夜、対応にご尽力されておられることに敬意を表します。引き続き、大きな混乱が続く中、誠に恐縮ではありますが、本機構が 2019 年度から実施しております全国教職員対象の 311 教訓伝承・被災地視察研修について、本年 3 月に予定する定期開催の実施に向けて、参加者の募集を始めることといたしましたので、ご案内申し上げます。

311 教訓伝承・被災地視察研修は、発災 10 年になる東日本大震災の知見と教訓を引き継ぎ、学校現場で災害から児童・生徒のいのちを守り、子どもたちに「ともに生き抜く力」を身につけさせるための防災教育の視点を共有するのが目的です。

機構が発足した 2019 年度に始まり、年 2 回、8 月と 3 月の定期開催を予定。昨年 3 月はコロナ禍で中止になりましたが、これまで 2 回の開催で全国から 45 人の参加をいただきました。

3 回目となる本年 3 月の研修については、感染拡大の状況によっては中止の判断が必要になる局面も想定されますが、コロナ禍で実施した昨年 2020 年 8 月の視察研修の実績を上台に、参加者のご協力の下、安全確保と感染拡大防止に細心の注意と努力を払うこととし、実施の準備を進めます。日程と内容は、昨年 8 月に実施した研修とほぼ同じです。

（参照）→別紙「2020 年 8 月研修の総括」「実施に当たっての確認・申し込み方法」

つきましては、貴職下教育委員会職員及び学校現職教員の方々にもご参加いただきたく、派遣につきましてご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 記

- 1 開催日 2021 年・令和 3 年 3 月 28 日（日）～31 日（水）3 泊 4 日
- 2 主催 国立大学法人宮城教育大学「311 いのちを守る教育研修機構」
- 3 対象 南海トラフ巨大地震等に警戒する地域の教員、教育委員会職員、関係部局職員等
- 4 定員 最大 20 人程度を想定(数人規模でも実施予定)
- 5 視察地 石巻市立大川小学校跡地・南三陸町戸倉小学校跡地・仙台市荒浜小学校震災遺構  
気仙沼市立向洋高校震災遺構・陸前高田市・釜石市鶴住居地区 等  
※詳細は別紙日程表を参照、参加者には修了証を交付
- 6 参加費 現地参加費：1 人当たり 30,000 円 <JR 仙台駅集合、仙台駅・仙台空港解散>  
※宿泊は個室を予定  
※参加費には宿泊料・バス代・施設見学料等の現地費用すべて含む
- 7 備考 宮城教育大学生も同行する場合あり
- 8 申し込み 別紙の申し込み方法を参照、締め切りは 2021 年・令和 3 年 3 月 4 日(木)

この件の問い合わせは

担当の武田真一(機構特任教授)まで

[s-takeda@staff.miyakyo-u.ac.jp](mailto:s-takeda@staff.miyakyo-u.ac.jp)

090-7667-6538